



FPolicyポリシーの設定の計画

ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

FPolicyポリシーの設定の計画	1
ONTAP FPolicy ポリシー設定について学ぶ	1
FPolicyポリシーの設定項目	1
FPolicyポリシーがネイティブエンジンを使用する場合のONTAP FPolicyスコープ設定の要件	7
ONTAP FPolicyポリシーワークシートを完成させる	7

FPolicyポリシーの設定の計画

ONTAP FPolicy ポリシー設定について学ぶ

FPolicyポリシーを設定する前に、ポリシーの作成時に必要なパラメータや、特定のオプションパラメータを設定する理由を理解しておく必要があります。この情報は、各パラメータに設定する値を決めるのに役立ちます。

FPolicyポリシーの作成時には、次の情報を指定します。

- Storage Virtual Machine (SVM)
- 1つ以上のFPolicyイベント
- FPolicy外部エンジン

このほかに、いくつかのオプションポリシーも設定できます。

FPolicyポリシーの設定項目

以下はFPolicyポリシーで使用できる必須パラメータとオプションパラメータのリストです。設定を計画する際に使用してください。

情報の種類	オプション	必須	デフォルト
SVM名 FPolicyポリシーを作成するSVMの名前を指定します。	-vserver vserver_name	はい	なし

<p>ポリシー名</p> <p>FPolicyポリシーの名前を指定します。</p> <p>この名前に指定できる文字数は最大256文字です。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>MetroClusterまたはSVMディザスタリカバリ設定でポリシーを設定する場合、この名前は最大200文字にする必要があります。</p> </div> <p>名前には、次のASCII文字の任意の組み合わせを含めることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • `a`から`z`まで • `A`から`Z`まで • `0`から`9`まで • 「_」、「-」、「.」 	<p><code>-policy-name</code> <code>policy_name</code></p>	<p>はい</p>	<p>なし</p>
<p>イベント名</p> <p>FPolicyポリシーに関連付けるイベントをカンマで区切って指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1つのポリシーに複数のイベントに関連付けることができます。 • イベントはプロトコルに固有です。 • 1つのポリシーで複数のプロトコルのファイル アクセス イベントを監視するには、ポリシーで監視する各プロトコルのイベントを作成し、それらのイベントをポリシーに関連付けます。 • 既存のイベントを指定する必要があります。 	<p><code>-events</code> <code>event_name, ...</code></p>	<p>はい</p>	<p>なし</p>
<p>永続ストア</p> <p>ONTAP 9.14.1以降では、このパラメータには、SVM内の非同期で必須でないポリシーのファイル アクセス イベントをキャプチャする永続的ストアを指定します。</p>	<p><code>-persistent</code> <code>-store</code> <code>persistent_store_name</code></p>	<p>いいえ</p>	<p>なし</p>

<p>外部エンジン名</p> <p>FPolicyポリシーに関連付ける外部エンジンの名前を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部エンジンには、ノードからFPolicyサーバに通知を送信するための必要な情報が格納されています。 単純なファイルブロッキングを行うためにONTAPの標準の外部エンジンを使用したり、より高度なファイルブロッキングとファイル管理を行うために外部FPolicyサーバ（FPolicyサーバ）を使用するように設定された外部エンジンを使用したりするようにFPolicyを設定できます。 ネイティブ外部エンジンを使用する場合は、このパラメータの値を指定しないか、`native`を値として指定することができます。 FPolicyサーバを使用する場合は、外部エンジンの設定がすでに存在している必要があります。 	<p><code>-engine engine_name</code></p>	<p>○（ポリシーで内部のONTAP標準エンジンを使用しない場合）</p>	<p>native</p>
<p>必須スクリーニングは必要か</p> <p>必須のファイルアクセススクリーニングを要求するかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> この必須スクリーニング設定は、プライマリサーバとセカンダリサーバがすべて停止した場合や、指定した時間内にFPolicyサーバからの応答を得られない場合に、ファイルアクセスイベントをどのように処理するかを決定します。 `true`に設定すると、ファイルアクセスイベントは拒否されます。 `false`に設定すると、ファイルアクセスイベントが許可されます。 	<p><code>-is-mandatory {true</code></p>	<p><code>false}</code></p>	<p>いいえ</p>

<p>true</p>	<p>特権アクセスを許可する</p> <p>特権データ接続による監視対象のファイルやフォルダに対する特権アクセスをFPolicyサーバに許可するかどうかを指定します。</p> <p>設定されている場合、FPolicyサーバは特権データ接続を使用して、監視対象データが格納されているSVMのルートにあるファイルにアクセスできます。</p> <p>特権データ アクセスの場合、クラスタ上でSMBのライセンスを取得し、FPolicyサーバへの接続に使用するすべてのデータ LIFで`cifs`を許可されたプロトコルの1つとして設定する必要があります。</p> <p>ポリシーで特権アクセスを許可する場合は、FPolicyサーバで特権アクセスに使用するアカウントのユーザ名も指定する必要があります。</p>	<pre>-allow -privileged -access {yes</pre>	<pre>no}</pre>
-------------	---	--	----------------

<p>× (パススルー リードが有効になっていない場合)</p>	<p>no</p>	<p>特権ユーザー名</p> <p>FPolicyサーバが特権データ アクセスで使用するアカウントのユーザ名を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • このパラメータの値は、「domain\user name」形式を使用する必要があります。 • `allow-privileged-access` が `no` に設定されている場合、このパラメータに設定された値はすべて無視されます。 	<p>-privileged -user-name user_name</p>
----------------------------------	-----------	---	---

<p>× (特権アクセスが有効になっていない場合)</p>	<p>なし</p>	<p>パススルー読み取りを許可する</p> <p>FPolicyサーバによってセカンダリストレージ（オフラインファイル）にアーカイブされているファイルを対象としたパススルーリードサービスをFPolicyサーバが提供できるかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> パススルーリードは、オフラインファイルのデータをプライマリストレージにリストアすることなく読み取るための手段です。 <p>パススルーリードでは、読み取り要求に応答する前にファイルをプライマリストレージにリコールする必要がないので、応答遅延が短縮されます。また、パススルーリードでは、読み取り要求を満たすためだけにリコールされるファイルによってストレージ領域を浪費する必要がなくなるので、ストレージの効率が最適化されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効になっている場合、FPolicyサーバはパススルーリード専用にかかれている別の特権データチャンネルを利用してファイルにデータを提供します。 	<pre>-is-passthrough -read-enabled {true</pre>
-------------------------------	-----------	--	--

FPolicyポリシーがネイティブエンジンを使用する場合のONTAP FPolicyスコープ設定の要件

ネイティブ エンジンを使用するように FPolicy ポリシーを設定する場合、ポリシーに設定される FPolicy スコープの定義方法に関する特定の要件があります。

FPolicyスコープは、FPolicyポリシーが適用される境界を定義します。たとえば、FPolicyが指定されたボリュームまたは共有に適用されるかどうかなどです。FPolicyポリシーが適用されるスコープをさらに制限するパラメータがいくつかあります。これらのパラメータの1つである`-is-file-extension-check-on-directories-enabled`は、ディレクトリのファイル拡張子をチェックするかどうかを指定します。デフォルト値は`false`で、ディレクトリのファイル拡張子はチェックされません。

ネイティブエンジンを使用するFPolicyポリシーが共有またはボリュームで有効になっており、`-is-file-extension-check-on-directories-enabled`パラメータがポリシーのスコープに対して`false`に設定されていると、ディレクトリへのアクセスは拒否されます。この設定では、ディレクトリのファイル拡張子がチェックされないため、ポリシーのスコープに該当するディレクトリ操作はすべて拒否されます。

ネイティブ エンジンを使用するときにディレクトリ アクセスが成功することを保証するには、スコープを作成するときに`-is-file-extension-check-on-directories-enabled parameter`を`true`に設定する必要があります。

このパラメータを`true`に設定すると、ディレクトリ操作の拡張子チェックが行われ、FPolicy スコープ設定に含まれる拡張子または除外される拡張子に基づいてアクセスを許可するか拒否するかが決定されます。

ONTAP FPolicyポリシーワークシートを完成させる

このワークシートを使用して、FPolicyポリシー設定プロセスに必要な値を記録することができます。FPolicyポリシー設定に各パラメータ設定を使用するかどうかを記録し、そのパラメータの値を記録しておきます。

情報の種類	含める	値
Storage Virtual Machine (SVM) 名	はい	
ポリシー名	はい	
イベント名	はい	
永続的ストア		
外部エンジン名		
スクリーニングを必須にするかどうか		
特権アクセスを許可するかどうか		
特権ユーザの名前		

パススルー リードが有効かどうか		
------------------	--	--

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。